



夏季死亡災害ゼロ101日運動通信

【運動期間：平成26年6月1日～9月9日】

第5号

9月号

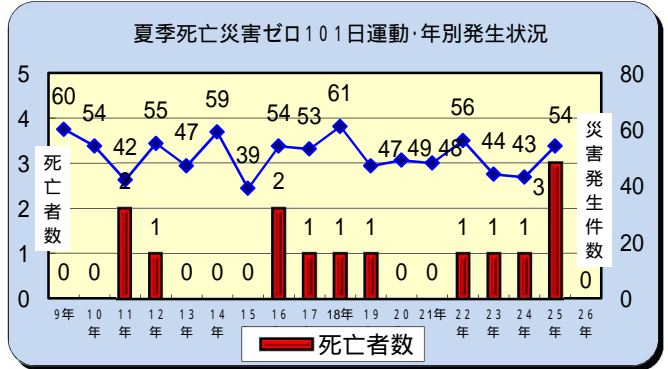
【結果】5年ぶりに目標達成!! 期間中の死亡労働災害は‘ゼロ’でした



平成9年度から毎年6月1日～9月9日を期間として展開されていた101日運動を今年度も18年目として展開し、地域一丸となって労働災害防止に取り組んだところですが、今年後は期間中に死亡労働災害の発生がなく、5年ぶりに目標達成となりました。

死亡労働災害を起こさないのは誰もが当たり前のことと思いつつも、残念ながら毎年のように死亡労働災害が発生していたため、今年度の運動での結果はまずは喜ばしい話です。

しかしながら、死亡労働災害となってもおかしななかったような労働災害も多数発生していたり、労働安全衛生法令の違反が存在している事業場・建設現場の割合が高水準であったり、職場内でのリスク管理(リスクアセスメントの実施)がまだまだ十分に定着が進んでいないなどの課題もあるため、現状の災害防止の水準に満足せずに、さらなるレベルアップへの努力も必要です。



運動期間中の死亡以外の労働災害(休業4日以上)は、9月9日時点で38人で、前年同期47人(確定54人)を下回っているものの、前々年同期28人(確定43人)と比べれば多い状況でした。

業種別では、道路貨物運送業が1人(前年同期9人)、小売業が1人(前年同期7人)と著しく減少した一方、建設業12人(前年同期7人)と製造業12人(前年同期9人)が増加・多発しました。また、飲食店の3人(前年同期0人)もやや目立ちました。

特に重篤な災害として、「ローラーに肩まで巻き込まれた」「重機の転落(休業4日未満)」「梯子からの墜落」「蜂刺され(一時意識不明)」「熱中症(一時意識不明)」「交通事故」などがありました。同じような危険性が自身の職場に存在していないかを確認してみて、安全対策も考えてみましょう。

県内では死亡労働災害に歯止めがかからず、再度‘緊急要請’!!

県内での死亡労働災害の多発事態を受け、5月～7月を期間として「死亡労働災害防止強化期間」が展開されましたが、残念ながら死亡労働災害の発生に歯止めがかかっておらず、この事態を受けて、9月9日に、第2回目の「死亡労働災害防止推進会議」が盛岡市で開催されました。出席者は前回と同じく主要労働災害防止団体、岩手経済4団体、連合岩手です。この会議でさらなる労働災害防止への取り組みが要請されました。(他の多数の団体へも文書要請されています。)

9月末現在の死亡労働災害は、本年は21件(人)で、前年同期12件(人)から著しく多発しています。

平成26年死亡災害発生状況(8月下旬以降) (9月末現在)

番号	署別	業種	発生月日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
20	宮古	建設業 (道路建設工事業)	8月30日	土	男	58	激突	整地・運搬・積込用機械	ブルドーザーを使って押土作業中、ブルドーザーから転落し、履帯に左側腹部を強打した。	地方公
21	大船渡	畜産・水産業 (漁業)	9月1日	月	男	33	激突され	揚貨装置	定置網の錨ロープの清掃を終え、定置網へ錨ロープ(φ36mm)を取り付けようとして巻きロープ(φ36mm:錨ロープに取り付けた補助ロープ)をキャブスタンを使い巻き上げたところ、海中に錨ロープが絡まっているのが見えたため、ロープをクレーンで海面まで巻き上げたところ、巻きロープが切れ、クレーンのフックが被災者等に当たった。	

岩手労働局

最近の一関監督管内の主な災害事例!

【製造業】製品不良があり、機械設備を点検中、少し高いステップに上がった際にバランスを崩し、手がローラーに巻き込まれてしまった。[裂創]

【製造業】サイドブレーキを引いていたダンプが坂道を下りだし、停車のため運転席に乗り込もうとした際、タイヤに足をひかれた。[骨折]

【製造業】ミキサーでの混ざり具合を確認し生地を取り出す際、スイッチを落とさなかったため手が巻き込まれた。[骨折]

【建設業】雨でスリップし横転(交通事故)。[首打撲]

『全国労働衛生週間』が展開中です!

期間：10月1日～10月7日

スローガン：みんなで進める職場の改善
心とからだの健康管理



最近のトピックス

平成26年度「『見える』安全活動コンクール」等の実施について平成26年9月5日付け基安安発0905第1号 内容

安全活動の「見える」化とは、職場に潜む視覚的に捉えられない危険などを可視化すること、また、それを活用することによる効果的な取り組みを言います。このコンクールは、安全活動に熱心に取り組んでいる企業が、国民や取引先に注目される運動「あんぜんプロジェクト」の一環として毎年度実施しており、今回で4回目となります。応募期間は、9月16日から11月14日までで、応募事例は「あんぜんプロジェクト」のホームページに掲載されます。その後、平成26年12月1日から平成27年1月31日を投票期間とし、3月上旬に優良事例が発表される予定です。

参加しなくても、ホームページを見るだけでも効果があります。掲載事例を自身の職場に取り入れるのも効果的です。